

映像制作のブックリスト

初心者のための映像制作セミナー

『映像編集の教科書』井上秀明著 玄光社 2007年6月刊

場面転換の時や登場人物の心情表現の時の編集方法、場面ごとの効果的なカメラワークなど、実戦ですぐに使える編集テクニックが、写真だけでなく、コミカルなイラストで平易に紹介されています。

『マスターショット vol 2 (ダイアログ編)』クリストファー・ケンワーシー著
吉田俊太郎訳 フィルムアート社 2011年12月刊

人物の対話のシーンの撮り方、その構図やカメラワークの技法が100通り収録されています。実際の映画のシーンと、CGで分かりやすく再構成された画像も掲載されており、分かりやすく解説されています。このシリーズは2014年10月現在Vol.3まで出版されています。

『世界名作映画絵コンテ図鑑』フィオヌラ・ハリガン著 富永晶子訳 スペースシャワーネットワーク 2014年6月刊

1939年から2014年までに公開された映画42作品のストーリーボードの一部を大公開。作品ごとに絵コンテの書きが方まったく違い、絵コンテだけで映画の雰囲気伝わってきます。絵コンテの作り方や構図の参考になるだけでなく、普段なかなか見る機会のない絵コンテの魅力も楽しめる1冊です。

『マイ・ファースト・ムービー―私はデビュー作をこうして撮った』スティーヴン・ローウェンスタイン編 宮本高晴訳 フィルムアート社 2002年4月刊

コーエン兄弟、ケン・ローチら16人の映画監督が、初めて映画を撮った時のことを語ったインタビュー集。今でこそ有名な彼らが、初めは別の仕事をしながら映画を作ったこと、苦労して予算を集めたこと、評価が芳しくなかったことなど、意外な事実も伺い知ることができます。彼らの映画制作に対する思いを体現した名言も必見です。



その他にも図書館にはたくさんの資料があります。

どうぞご利用ください！